

現代社会の特徴

現代社会には大きな特徴が3つある。

ひとつめは「グローバル化」。人や物、情報が国境を越えて行き来することだ。2つめは「情報化」。インターネットが広まったことで、大量の情報を一瞬で送受信することが可能になった。これら「グローバル化」と「情報化」は深いつながりがあるよ。3つめは「少子高齢化」。高齢者の割合が増え、子どもの数が減っている。

「グローバル化」と「情報化」、そして「少子高齢化」。それぞれプラスの面もあれば、マイナスの面もある。現代社会の3つの特徴とその課題を知ることが、この章のポイントだ。

この章のポイント!

「現代社会の特徴」のキーワード

① グローバル化 ② 情報化 ③ 少子高齢化

理解を深めるエッセンス★

「グローバル化」が「情報化」によって世界中で加速している。一方、「少子高齢化」は日本をはじめとする先進国やアジア諸国で起きている現象。それぞれの影響がどんな点にあるのかを理解しよう。

テーマ

1 グローバル化

グローバル化とは

今、キミが着ている服や身の周りのものは、どこでつくられたものかな？ その多くは外国でつくられて日本に運ばれてきたものだよ。航空機や大型コンテナ船が活用されるようになって、外国の品を速く、大量に運べるようになった。食べ物も運輸の発達で、安くて新鮮な外国産の肉や魚介類、

野菜、果実を輸入できるようになった。輸入というのは、海外の品を買い入れることだよ。

また、インターネットで海外の音楽をダウンロードしたり、海外製品を購入したりすることも簡単にできるようになっているよね。

現代の社会では**たくさんの人、物、お金、情報などが国境を越えて移動するようになっている**。その国でしか買えないもの、食べられないもの、得られない情報などがどんどん少なくなっている。このように**世界の一体化が進むことを、グローバル化**というよ。

たとえば中学生にも身近な例でいうと、コンビニエンスストアやファストフード店などでは、いろんな国からやってきた外国人スタッフが働いているのを目にするよね。日本で暮らす外国人が増え、**いろいろな文化を持った人びとがともに生活する多文化社会**が進んでいるのも、グローバル化の特徴だ。

国際競争と国際分業

外国の商品がどんどん日本に入ってくると、国内の商品を含めて、どこの国の商品がよいか、比べられるようになるよね。各国の企業はよりよい商品を、より安く提供できるように必死になっている。この競争を**国際競争**という。

同時に、競争しても勝てそうもない得意な分野は得意な国に任せるとい**う国際分業**も進んでいるよ。

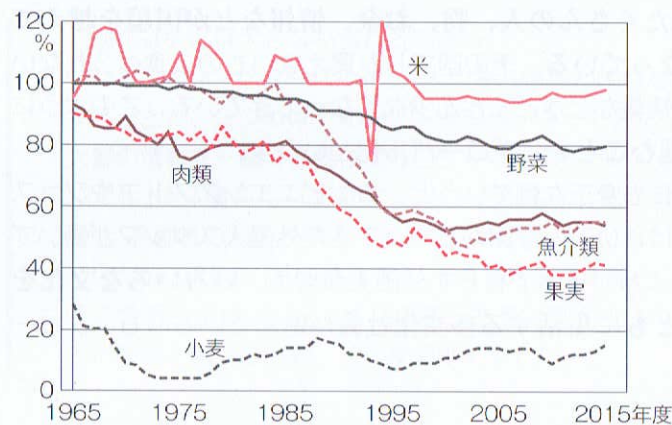


海外の商品が簡単に買えて、しかも商品を提供する国どうしが競争するから、私たちは商品を安く買えるようになりますし、いくつもの国々が協力してもっといい商品をつくるだろうし……グローバル化は、私たちにとっていいことづくめってわけですね!

いや、じつはそうとも言えないんだ。グローバル化にともなって問題も起きているんだよ。

国際分業が進むと、自分の国で生産された商品だけで生活するのが難し

くなくて、外国に頼るようになる。日本の場合、特に食料品の輸入が増えている。国内で消費される食料のうち、国内で生産されたものがどのくらいを示す、**食料自給率**という指標があるんだけど、これが下がっているんだ。



日本の品目別食料自給率の推移
(政府統計「平成30年度食料需給表」ほかより作成)



食料自給率が低くなると、何か問題があるんですか？
いろんな国の食べ物を食べられるなら
いいのではないかってしまうんですけど……。

輸入食品が増えることを「食の国際化」というんだけど、それ自体はいいことだよ。でも、食料を海外に頼りすぎると、輸出国の事情によって急に価格が上がったり、品物が入ってこなくなったりすることがある。

そして、もっと問題なのは、外国の安い食料がたくさん入ってくると、国内の農作物の値段も下がって、農業をする人が少なくなってしまうことだ。畑も減っていくから、国内産の食料を食べたいと思っても、だんだん手に入りにくくなってしまふのは困るでしょ。

日本は、国内の生産者を保護するために、特定の商品の輸入を制限していたんだ。でも、自由貿易に向かうグローバル化の流れに逆らうことができず、1991年には牛肉とオレンジの輸入自由化が実施された。そして国内の米不足をきっかけに、1993年には米の輸入に踏み切っているよ。

グローバル化による課題

グローバル化によって多くの人やものが国境を越えて移動するようになると、新型コロナウイルスが短期間で世界的に流行する、ということも起きる。2020年に国内外で広がった新型コロナウイルス感染症がその一例だね。また、世界中の人びとがより便利で快適な生活を求めてきた結果として、地球温暖化問題も深刻になっているんだ。



「地球温暖化」って、ニュースでときどき出てくるけど、どうして問題なんですか？ 私、寒いのが好きなので、暖くなるのはむしろ歓迎なんですけど……。

地球温暖化が進むと、海面が上昇する。南太平洋の島国では浸水が進んで、国によっては、国土全体が海に沈んでしまう危険が出てくる。

異常気象も起きやすくなって、自然や農業がダメージを受けることが多くなるし、伝染病が発生する地域も広がる。生活用水を氷河や雪に頼っている人びとは、生活するための水が得られなくなってしまう。

グローバル化による問題はほかにもある。国際競争と国際分業が進んでいくと、豊かな国と貧しい国の格差が広がっていく。

こうしたグローバル化による**国際問題**は、ひとつの国だけの努力では解決は不可能だ。各国が協力して取り組んでいかないと解決できない課題だよ。日本も**国際協力**といって各国と協力しながら、課題の解決に取り組んでいるよ。

また、多文化社会になり、異なる文化のもとで生まれ育った人たちがともに生活すると、**衝突**が起きやすくなる。文化が違うと、価値観や常識も異なるからね。そんなときに、どの文化がすぐれているかを争っても、何も解決しない。それぞれの文化を尊重して、ともに協力し合って暮らしていくことが求められているよ。

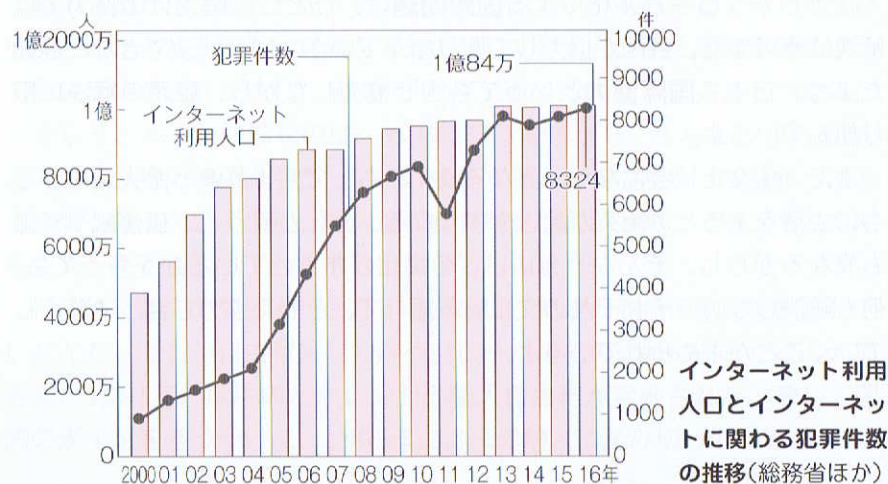
2 情報化

情報化とは

現代では、インターネットにつながれば、スマートフォンでいつでもどこでも商品を注文できるし、航空券や世界中のホテルの予約だって簡単にできる。世界中の人たちとコミュニケーションをとることも簡単にできるよね。

わからないことはインターネットで検索すればいいし、商品や店の評判はSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）をチェックすればわかる。クレジットカードや電子マネーを使えば、現金がなくても買い物ができる。店側も、コンピューターのシステムを使って、どの商品がどんな年齢層にどれだけ売れているのかを把握して、商品を効率的に管理している。

コンピューターやインターネットというICT（情報通信技術）の発達によって、情報をやりとりすることが簡単になり、人びとの生活や社会において情報が果たす役割が大きくなっていること。これを**情報化**というよ。情報化は、**グローバル化が進む要因にもなっている**ということを理解しておこう。



情報化社会の課題

情報化が進んだ社会で生活していくために、注意したい点が2つある。

ひとつは、**情報を正しく活用する知識や技術（情報リテラシー）**を身につけることだ。インターネット上には大量の情報があふれている。その中から、必要な情報を見つけたり、ウソの情報にだまされたりしないようにするのは、意外と難しい。情報を正しく取捨選択するにはそれなりの知識が必要だ。

もうひとつの注意点は、**情報を正しく利用していく態度（情報モラル）**を身につけることだ。自分や他人の個人情報をももらしたり、ウソの情報や他人の悪口をインターネット上に流したりすると、あっという間に広がって、取り返しのつかない事態になってしまうことがある。犯罪行為になることもある。個人情報や間違った情報を流出させないように、情報を慎重に管理することも大切だ。

情報化が進んで便利な世の中になったけれど、そのぶん、注意しなくてはいけないことも出てきたわけだね。

3 少子高齢化

少子高齢化とは

ひとりの女性が一生の間に出産する子どもの平均数を**合計特殊出生率**というんだけど、**日本ではこの数値が下がっているのを知っているかな？**一方で、**平均寿命**が延びて、人口全体における高齢者の割合が増えているんだ。

このように、**合計特殊出生率が低下して、高齢者の割合が増加することを、少子高齢化**というよ。

少子高齢化 高齢者の割合

総人口に占める65歳以上の人の割合（高齢化率）が7%を超えた社会を「高齢化社会」、14%を超えた社会を「高齢社会」、21%を超えた社会を「超高齢社会」といいます。日本は1994年に高齢社会、2007年に超高齢社会になっています。

日本では、2005年以降、亡くなる人の数よりも、生まれてくる赤ちゃんの人数が少なくなっている。これがどういうことかわかるかな？ そう、人口が減っていくということだね。総務省によると、2060年には、日本の人口の約4割が65歳以上の高齢者になるという予想もされているよ。日本は平均寿命が世界一、同時に**人口全体における高齢者の割合も世界一**なんだ（2018年総務省統計局発表）。

少子高齢化が進む一方で、家族のかたちも変化している。日本では、戦後から三世帯世帯といって、祖父母、親、子どもの三世帯が一緒に暮らすかたちから、**親子、または夫婦だけで暮らす核家族世帯**が多くなっている。さらに最近では、ひとり暮らしの単独世帯の割合も大きくなっているよ。

少子高齢化の課題

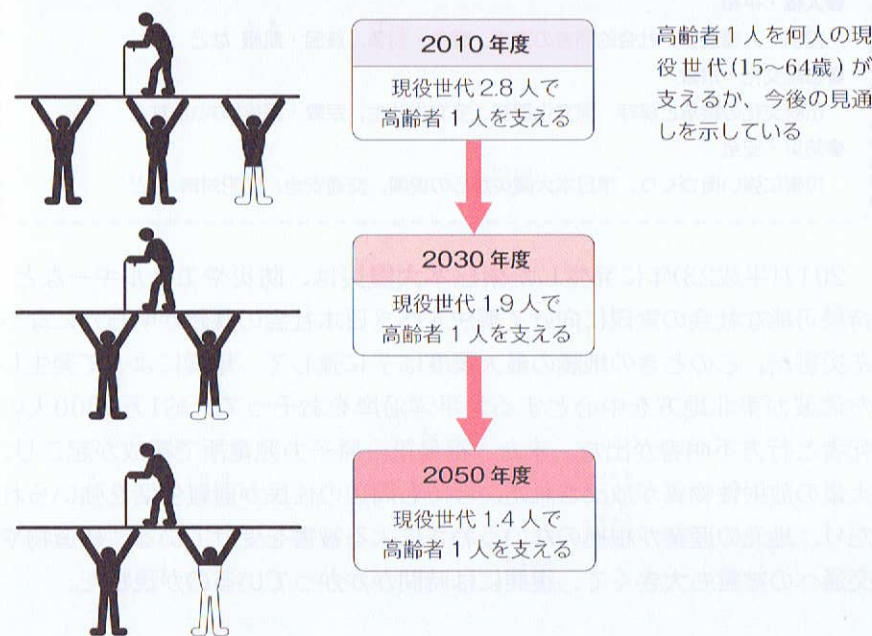
少子高齢化が進むと、高齢者の生活を支える公的年金や社会保障にかか

るお金が増える。「公的年金」とは、国がおこなっている年金のことだ。年金といってもいろいろあるんだけど、たとえば、国民年金の場合、20歳から60歳までの40年間保険料を支払うと、65歳以降は死亡するまで2か月ごとにお金を受け取ることができる。

「社会保障」は、病気やけがをしたり、勤めている会社が倒産して収入がなくなってしまって生活が困難になったりしたときに、国が必要なお金を負担してくれる制度のことだ。

日本にはそんな安心な制度があるんだけど、高齢者が増える一方で、働いてお金を稼ぐ現役世代が減っているから、国民一人あたりの負担が重くなっているんだ。そんな現役世代への対策、増えていく高齢者への社会保障の充実化、これをどう両立させていくかが大きな課題となっている。そのようななか、2003年に少子化社会対策基本法、2009年に介護休業法の改正、2015年には子ども・子育て支援新制度の制定がされて、雇用環境を整えたり、保育園を増やしたりしているよ。

高齢化の推移と将来推計（内閣府「平成30年版高齢社会白書」より作成）



4 「持続可能な社会」に向けて

「持続可能な社会」とは

現代の社会は、グローバル化、情報化、少子高齢化などの影響を受けて、大きく変化している。そんな中で、環境・エネルギー、人権・平和、伝統文化・宗教、防災・安全などにかかわるいろいろな問題が生じている。

これらの課題を解決するためのキーワードが「**持続可能な社会**」だ。この、持続可能な社会とは、**現在の世代の幸福と将来の世代の幸福とが両立できる社会**を意味するよ。目先の便利さだけでなく、50年後、100年後の将来の世代のことを考え、僕らの生活のあり方を見直していくということだ。

《持続可能な社会を実現するために解決すべき主な課題》

- 環境・エネルギー
地球環境問題、公害、環境保全、資源・エネルギー問題 など
- 人権・平和
差別・人権侵害、社会的弱者の支援、戦争・紛争、貧困・飢餓 など
- 伝統文化・宗教
伝統文化の継承と保存、異文化理解、多文化共生、宗教・民族間対立 など
- 防災・安全
災害に強い街づくり、東日本大震災からの復興、交通安全、防犯対策 など

2011(平成23)年に発生した**東日本大震災**は、防災やエネルギーなど、持続可能な社会の実現に向けて解決すべき日本社会の課題が明らかになった災害だ。このときの地震の最大震度は7に達して、地震によって発生した津波が東北地方を中心とする太平洋沿岸をおそって、約1万9000人の死者と行方不明者が出た。また、福島第一原子力発電所で事故が起こり、大量の放射性物質が放出された。今でも周辺の住民が避難生活を強いられたり、地元の産業が根拠のないうわさによる被害を受けている。建造物や交通への被害も大きくて、復興には時間がかかっているのが現状だ。

ただ、この震災をきっかけに日本は変わろうとしている。たとえば、防災への取り組みが国や地域、職場、家庭などでおこなわれるようになってきているし、エネルギーについても太陽光などの再生可能エネルギーの導入が進んでいるよ。また、復興支援に協力しようとする**ボランティア**もあらわれた。

このように、「持続可能な社会」を実現するには、政治家だけに任せるのではなく、**僕ら一人ひとりが積極的に社会に参加することが必要だ**。これを**社会参画**というよ。

覚えておこう!



「グローバル化」「情報化」「少子高齢化」はこのあとの学習内容にも深くかかわってくるよ。さらに「**持続可能な社会**」と「**社会参画**」は公民の学習全体にかかわる重要なキーワードだからよく理解しておいてね。